



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 マブチモーター株式会社

上場取引所 東

コード番号 6592 URL <https://www.mabuchi-motor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 大越 博雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・財務担当 (氏名) 富田 たくみ

TEL 047-710-1127

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	81,249	18.8	6,467	49.8	5,839	61.1	4,159	59.7
2019年12月期第3四半期	100,099	8.1	12,888	20.2	14,999	23.1	10,317	48.2

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,789百万円 (%) 2019年12月期第3四半期 4,319百万円 (73.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	62.68	62.65
2019年12月期第3四半期	155.01	154.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	252,567	232,722	92.1
2019年12月期	268,244	245,172	91.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 232,631百万円 2019年12月期 245,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		67.00		68.00	135.00
2020年12月期		67.00			
2020年12月期(予想)				68.00	135.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

なお、利益配分に関する基本方針及び当期の配当予測につきましては、添付資料1.(3)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」も併せてご参照ください。

(注) 配当金の内訳

2019年12月期特別配当 第2四半期末52円00銭 期末53円00銭

2020年12月期(予想)特別配当 第2四半期末52円00銭 期末53円00銭

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	14.3	10,500	40.2	10,300	50.6	7,100	50.1	106.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	68,562,462 株	2019年12月期	68,562,462 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	2,615,144 株	2019年12月期	2,169,271 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	66,366,221 株	2019年12月期3Q	66,559,712 株

(注)2020年12月期3Qの自己株式数には、マブチモーター従業員持株会信託及び役員報酬BIP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数89,700株及び202,449株)を含めており、2019年12月期の自己株式数には、マブチモーター従業員持株会信託及び役員報酬BIP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数139,100株及び203,226株)を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。また、業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年9月30日）における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の停滞等の影響により、大幅なマイナス成長となりましたが、期間後半より一部に回復の動きが見られました。米国経済は、マイナス成長となりましたが、個人消費の回復を背景に景気の持ち直しが見られました。欧州経済は、第3四半期に入り再び新規感染者数が増加傾向となり、景気の回復は限定的なものとなりました。我が国経済は、輸出の持ち直しが持続した一方で、個人消費の回復ペースは鈍化し、期間全体では大幅なマイナスとなりました。新興国経済は、全体としては大幅なマイナス成長となりましたが、各国の回復度には強弱があり、先行して経済活動を再開した中国では景気の回復傾向が持続しました。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、欧州市場の回復は限定的なものにとどまった一方で、北米市場は底堅く推移し、中国市場も回復が持続しました。民生・業務機器市場は、世界的な市場の減速に加えて、一部の用途で市場縮小が継続したものの、欧州市場において回復の兆しが見られました。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量で前年同期比19.4%の減少、金額では前年同期比18.8%の減少となりました。また、8月に修正いたしました第3四半期連結累計期間の販売計画に対しては、数量で4.8%の増加、金額で6.0%の増加となりました。これらの結果、当第3四半期の売上高は812億4千9百万円（前年同期比18.8%減）となり、その大半を占めるモーター売上高は812億4千万円（前年同期比18.8%減）となっております。

営業利益につきましては、売価・プロダクトミックスの改善による増益要因はあったものの、販売数量の減少ならびに操業度低下に伴う単位当たり固定費負担の増加などの減益要因もあり、64億6千7百万円（前年同期比49.8%減）となりました。経常利益は、為替差損が増加したことなどにより58億3千9百万円（前年同期比61.1%減）、税金等調整前四半期純利益は、投資有価証券売却益の発生などもあり73億7千1百万円（前年同期比49.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は41億5千9百万円（前年同期比59.7%減）となりました。

次に、モーターの用途別市場動向と販売状況についてご説明いたします。

① 自動車電装機器市場

売上高は582億8千4百万円（前年同期比21.1%減）と減少しました。重点強化事業であるパワーウィンドウ、パワーシート及びパーキングブレーキ用等の中型電装、並びにドアロック、ミラー及びエアコンダンパー用等の小型電装ともに、新型コロナウイルス感染拡大による世界的な市場の減速により前年同期比では低調に推移したものの、完成車メーカー各社の生産再開に伴い販売が回復しました。

② 民生・業務機器市場

売上高は229億5千6百万円（前年同期比12.5%減）と減少しました。理美容関連機器用は、歯ブラシ用の中高級セグメントが堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響及び一部用途における採算性重視の方針による受注絞り込みにより減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に対して156億7千7百万円減少し、2,525億6千7百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、配当及び自己株式取得による現金及び預金の減少69億2千万円、有形固定資産の減少42億6千5百万円、投資有価証券の減少29億3千1百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に対して32億2千7百万円減少し、198億4千4百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、支払手形及び買掛金の減少12億6千7百万円、未払法人税等の減少11億7千万円、繰延税金負債の減少9億5千4百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して124億4千9百万円減少し、2,327億2千2百万円となりました。利益剰余金が48億7千2百万円減少、為替換算調整勘定が36億3百万円減少、その他有価証券評価差額金が24億4千4百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、一部に回復の動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症拡大の第2波も懸念され、先行きに不透明感があります。米国経済は、消費に回復の兆しが見られるものの、持続性に懸念があります。欧州経済は、新規感染者数の再増加に伴い、行動制限等の規制が再び実施されることにより、経済活動の減速が懸念されます。我が国経済は、経済活動の再開に伴い改善が見込まれるものの、消費の回復ペースは鈍化しており、更なる成長には不透明感が残ります。新興国経済は、中国については景気刺激策により回復の持続が見込まれるものの、その他の新興国の回復度には強弱があり、全体として回復ペースは緩慢となる見通しです。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、北米、欧州及び中国の各市場における完成車メーカーの稼働は正常化に向かいつつあり、緩やかな回復が見込まれますが、世界の自動車生産台数は通期で大幅な減少が見込まれます。民生・業務機器市場は、欧州市場において減少幅の縮小が見込まれますが、その他の地域市場では大幅な減少が予想されます。

このような状況下、自動車電装機器及び民生・業務機器の両市場ともに第2四半期末にかけて大きく減速したものの、当第3四半期は回復傾向に転じました。これら最新の業績動向を踏まえ、2020年12月期の連結業績予想につきまして、売上高は1,130億円（前回発表予想に対し8.7%増）、営業利益は105億円（同26.5%増）、経常利益は103億円（同15.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は71億円（同42.0%増）へ、見直しをいたします。詳細につきましては、本日（2020年10月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお当期の期末配当につきましては、直近に公表した配当予想（2020年2月13日公表）から変更無く、1株当たり68円（普通配当15円、特別配当53円）の予想としております。既に配当予想通りに実施済みの中間配当67円（普通配当15円、特別配当52円）と合わせ、年間配当は1株当たり135円（普通配当30円、特別配当105円）としております。

今後、経営環境にきわめて重大な変化が生じた場合は、業績予想、配当予想ならびに自己株取得などの株主還元を適宜見直し、速やかに開示いたします。

なお、当第3四半期連結累計期間の実績為替レートは1米ドル107.59円、当第4四半期業績見直しにおける前提為替レートは1米ドル105円としております。

（注）上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・ 為替相場の変動
- ・ 当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
- ・ 新技術・新製品等の急速な技術革新
- ・ 銅・鋼材・レアアース等の相場の変動

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	110,369	103,449
受取手形及び売掛金	21,913	23,249
有価証券	2,301	1,500
商品及び製品	24,353	21,027
仕掛品	954	1,131
原材料及び貯蔵品	8,572	10,180
その他	5,101	5,128
貸倒引当金	△53	△148
流動資産合計	173,510	165,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,580	49,944
減価償却累計額	△28,443	△29,111
建物及び構築物 (純額)	22,137	20,833
機械装置及び運搬具	64,220	65,272
減価償却累計額	△33,269	△35,522
機械装置及び運搬具 (純額)	30,951	29,749
工具、器具及び備品	19,403	20,125
減価償却累計額	△14,916	△15,751
工具、器具及び備品 (純額)	4,487	4,374
土地	6,640	6,553
建設仮勘定	16,288	14,727
有形固定資産合計	80,504	76,238
無形固定資産	1,144	1,058
投資その他の資産		
投資有価証券	10,980	8,049
繰延税金資産	704	492
その他	1,433	1,607
貸倒引当金	△33	△397
投資その他の資産合計	13,084	9,751
固定資産合計	94,733	87,049
資産合計	268,244	252,567

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,003	4,736
未払法人税等	1,966	796
賞与引当金	249	755
役員賞与引当金	172	62
その他	8,730	8,514
流動負債合計	17,121	14,865
固定負債		
長期借入金	635	542
株式等給付引当金	142	209
退職給付に係る負債	2,139	2,100
資産除去債務	17	17
繰延税金負債	2,716	1,761
その他	299	347
固定負債合計	5,950	4,979
負債合計	23,071	19,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,419	20,419
利益剰余金	216,974	212,101
自己株式	△10,014	△11,610
株主資本合計	248,084	241,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,456	1,011
繰延ヘッジ損益	△2	—
為替換算調整勘定	△5,777	△9,380
退職給付に係る調整累計額	△712	△615
その他の包括利益累計額合計	△3,035	△8,984
新株予約権	124	91
純資産合計	245,172	232,722
負債純資産合計	268,244	252,567

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	100,099	81,249
売上原価	69,616	58,064
売上総利益	30,482	23,184
販売費及び一般管理費	17,594	16,717
営業利益	12,888	6,467
営業外収益		
受取利息	591	574
受取配当金	177	165
為替差益	562	—
スクラップ材料売却収入	1,001	764
その他	274	409
営業外収益合計	2,607	1,913
営業外費用		
株式関係費	134	115
為替差損	—	1,890
控除対象外消費税等	28	20
その他	332	514
営業外費用合計	495	2,541
経常利益	14,999	5,839
特別利益		
固定資産処分益	9	8
投資有価証券売却益	—	2,382
新株予約権戻入益	—	7
ゴルフ会員権売却益	1	—
特別利益合計	11	2,399
特別損失		
固定資産処分損	328	64
臨時退職金	58	138
生産子会社閉鎖損失	—	414
感染症関連損失	—	250
特別損失合計	387	867
税金等調整前四半期純利益	14,623	7,371
法人税等	4,306	3,212
四半期純利益	10,317	4,159
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,317	4,159

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	10,317	4,159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	888	△2,444
繰延ヘッジ損益	37	2
為替換算調整勘定	△7,012	△3,603
退職給付に係る調整額	87	96
その他の包括利益合計	△5,998	△5,948
四半期包括利益	4,319	△1,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,319	△1,789
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2020年2月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式517,400株(取得価額1,924百万円)を取得いたしました。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は11,610百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループは各国の新型コロナウイルス感染症対策に伴う経済活動の停滞等により需要が縮小した影響を受けております。この状況により当連結会計年度中は一時的な需要低下があるものの、各地域での感染拡大収束、経済活動再開に伴い需要は徐々に回復していくと仮定しており、当該仮定を会計上の見積り(繰延税金資産の回収可能性、固定資産減損の認識判定)に反映しております。

なお、新型コロナウイルスの収束時期や将来的な影響は依然として不透明であり、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,601	48,139	17,625	23,733	100,099	—	100,099
セグメント間の内部 売上高又は振替高	60,887	54,089	995	61	116,034	△116,034	—
計	71,488	102,228	18,621	23,794	216,133	△116,034	100,099
セグメント利益又は損失 (△)	4,740	7,177	△322	758	12,352	535	12,888

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,114	40,723	13,994	18,417	81,249	—	81,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47,291	42,647	1,196	59	91,196	△91,196	—
計	55,406	83,371	15,191	18,476	172,445	△91,196	81,249
セグメント利益又は損失 (△)	1,988	4,073	347	△497	5,911	555	6,467

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。